

第37回東日本中学生ラグビーフットボール大会～ラグビースクールの部及び女子の部～

実施要項

1. 目的

関東協会管下の東日本地域のラグビースクール(女子は中学校を含む)に所属する中学生によって編成された都道府県などの代表チームによる大会を実施することによって、東日本地域での中学生ラグビーの活動を活性化し、中学生プレーヤーの交流を促進すると共に、心身の発達と、競技力の向上を図る。同時に、中学生ラグビーに携わる指導者の質の向上を図り、中学生プレーヤーを始め、関係する中学生の健全な社会形成者として必要な資質を得られるよう働きかけることを目的とする。

2. 名称

第37回 東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部及び女子の部

3. 主催 関東ラグビーフットボール協会(以下「主催協会」という。)

4. 主管 主管協会は以下の通りとする。

千葉県ラグビーフットボール協会	北海道ラグビーフットボール協会
宮城県ラグビーフットボール協会	茨城県ラグビーフットボール協会
長野県ラグビーフットボール協会	

5. 期日・会場 平成29年10月9日～11月12日(詳細は以下、予定)

■ ラグビースクール(以下「スクール」という)の部・ファーストステージ

第1地区：平成29年10月15日 函館市根崎ラグビー場

第2地区：平成29年10月09日 宮城県石巻市(調整中)

第3地区：平成29年10月22日 水戸市立サッカー・ラグビー場(ツインフィールド)

第4地区：平成29年10月15日 長野市千曲川リバーフロントスポーツガーデン

■ 女子の部(リーグ戦)、及びスクールの部(セカンドステージ、ファイナルマッチ)、平成29年11月11日(土)・12日(日)

千葉県総合スポーツセンターサッカー・ラグビー場、秀明大学陸上競技場、他

6. 大会形式(含む試合組合)

トーナメント形式とリーグ戦を前提にするが、都道府県協会の推薦による参加チーム決定後、試合組合せとともに主催者にて決定する。

7. 出場チームの要件

参加チームは以下の通りとする。

■ スクールの部

主催協会管下の都道府県協会が承諾、推薦する当該協会に所属する全てのラグビースクール(含むジュニアクラブ)の「主登録選手」から選考した「男子選手」によって編成された代表チームとする。但し、都道府県単独でのチーム編成ができない場合は、主催協会が事前に調整、承諾し、当該都道府県協会が了承した複数の都道府県協会に編成さ

れたチームとする。

■ 女子の部

主催協会管下の都道府県協会が承諾、推薦する当該協会に所属する全ての中学校、ラグビースクール（含むジュニアクラブ）の「主登録選手」から選考した「女子選手」によって編成された代表チームとする。但し、都道府県単独でのチーム編成ができない場合は、主催協会が事前に調整、承諾し、当該都道府県協会が了承した複数の都道府県協会編成されたチームとする。

8. 地区割りと出場チーム

■ スクールの部（以下の 15 チームを想定）

第 1 地区 北海道スクール代表 北東北スクール代表※ 岩手県スクール代表

第 2 地区 宮城県スクール代表 福島県スクール代表 新潟県スクール代表

第 3 地区 群馬県スクール代表 栃木県スクール代表 茨城県スクール代表

第 4 地区 千葉県スクール代表 埼玉県スクール代表 長野県スクール代表

※北東北は青森県と秋田県の代表

第 1 シード 神奈川県スクール代表 第 2 シード 東京都スクール代表

■ 女子の部（以下の 5 チームを想定）

東京都スクール女子代表 東京都中学校女子代表、神奈川県女子代表

東北・北海道女子代表（北海道、青森県 秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県）

関東甲信越女子代表（栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県）

9. 参加資格

- 1) (公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録されている者で、主たる活動チームから参加している者とする。※ 副チームから参加することはできない。
- 2) 選手は、U15 カテゴリー（中学 2 年生、3 年生）（※ 1）の該当者であり、平成 14 年（2002 年）04 月 02 日～平成 15 年（2003 年）04 月 01 日に生まれた者で、主登録チームから推薦（承諾）された者とする。
 - ※ 原則として中学 3 年生を対象とするが、能力の高い中学 2 年生（平成 15 年 4 月 2 日～平成 16 年 4 月 1 日に生まれた者）の参加については特例として認可する。但し、事前に主催協会に申請しなければならない。
 - ※ 尚、本大会から男子選手は、男子の部へ、女子選手は女子の部へ出場することとする。
 - ※ 過年度生徒については、中学生に留まっている理由が病気などによって出席日数の不足等やその他明らかに正当な理由がある場合には、特別措置として 1 年間に限定して選手登録することができるが、試合への出場は同一時間に 1 名の出場に限る。この場合、当該選手の所属する中学校長の確認を要する。但し、下記 3) に該当する者については本特別措置の適用はしない。
- 3) 外国籍選手は、選手登録することができるが、試合への出場は同一時間に 1 名以内の出場に限る。

- 4) 参加選手は、保護者が大会要項による参加を許可し、事前に「保護者承諾書」を提出しなければならない。
- 5) 出場チームの役員2名のうち1名は、JRFU公認コーチ資格を有していること。
(原則は育成コーチ以上だが、今年度は、新スタートコーチ資格以上で可能とする。)
- ※ 同時に、チームの登録役員の内1名は、平成29年発行の主催協会管下の都道府県協会の役員名簿に記載された者であること。
- 6) 出場チームの選手・役員は、本大会期間を対象とするスポーツ安全保険やスポーツ傷害保険と同等か、それ以上の傷害保険に事前に参加していなければならない。

<補足> ※1 U15 カテゴリー (中学2年生、3年生)

JRFU・U-15 ジュニアラグビー競技規則 《附則》3.(1) エージ制カテゴリーに関するガイドライン「指導措置」より・U-15 カテゴリーとは、中学2、3年生のプレーヤーで構成するチーム、及び当該チームによる試合となっており、本規定を準拠し、中学1年生は出場することはできない。

10. チームの構成

- 1) チームは「登録候補選手(スコッド)」15名以上、30名以内、及び役員2名で構成する。
「登録候補選手」は、1チームにつき選手30名まで登録することができる。
- 2) 登録候補選手の中から、試合に出場(ベンチ入り可能)できる選手人数は1チームにつき選手22名以内(最低登録選手数は15名)とし、試合ごとに登録候補選手の中から選手を選出し、メンバー表を本部に提出する。
- 3) 試合グラウンド、及びベンチに入ることができるのは、メンバー表に記載された登録役員2名、登録選手22名以内、合計24名以内とする。
【確認事項】 フロントローの選手、又はフロントローの訓練を受け、且つ、フロントローとしてしっかりとしたスクラムを組むことができる選手を登録選手(ベンチ入り選手)の内、最低5名以上、揃えていなければならない。
- 4) 参加チームはセーフティアシスタント(以下「SA」という)1名を登録することができる。この場合、SA認定証を携行しなければならない。SAは試合前にマッチドクターに提示し、試合中はドクター席横に待機し、マッチドクター(マッチドクター不在の場合は大会本部、或いはグラウンド責任者)の指示に従って適宜、活動する。この為、SAは試合中、ベンチ入りすることはできない。

11. 参加申込方法

都道府県協会から推薦されたチームは、以下の書類(参加承諾書を除く)を **10月9日(月)**までに主催協会(大会事務局)に提出(必着)しなければならない。

【様式1】 大会参加申込書(兼登録候補選手、指導者届出書)

【様式2】 チーム調査票

【様式4】 セーフティアシスタント登録用紙

【様式3】 登録候補選手(スコッド)変更届(必要な場合のみ)

【様式5】保護者承諾書 ※ チームは、1st ステージ時に主管協会へ提出すること。
但し、各女子代表、東京都スクール代表、神奈川県スクール代表は、11月11日の千葉県での代表者会議時に提出すること。

<重要> 1st & 2nd ジャージ、パンツ、ソックスの写真 (jpeg 形式、png 形式)

※ 参加申込書提出後の登録候補選手の変更は、様式3の「登録候補選手変更届」に各ステージの代表者会議時までには主催協会事務局・大会事務局に提出し、承認を受けること。

12. 競技規則及び競技方法

1) (公財)日本ラグビーフットボール協会制定の平成27年度U-15ジュニアラグビー競技規則による。同時に同協会「U-15ジュニアラグビー安全競技基準」「U-15ジュニアラグビー・中学生選手服装規定」を準拠する。※平成29年度の変更はなし。

※ なお、平成29年7月12日付け「U-15ジュニアラグビー競技規則等に関する通知」、及び平成29年7月31日付、U-15ジュニアラグビーにおける「ワールドラグビー試験的ルールの実施(時期)について」の通知文章を準拠する。

※ レッドカードを受けた選手は、原則としてその後の本大会の試合には出場できない。但し、最終決定は主催協会普及育成委員会の決定に委ねる。

2) 試合時間

1チーム当たり、1日1試合の場合は20分ハーフ、1日2試合となる場合は17分ハーフとする。

■ スクールの部

① ファーストステージ

8. 地区割りに従って、3チームによるリーグ戦とする。

※ シードの特例

なお、神奈川県、東京都は当該都県での秋季大会の公式戦試合数が多く、日程調整が困難であり、選手の安全管理を優先し慣例に従ってシードとする。シード順位は春季の実績を考慮して神奈川県を第1シード、東京都を第2シードとする。

② セカンドステージ、ファイナルマッチ

・カップ戦

ファーストステージの地区1位4チームをAプール、Bプールに分け、3チーム毎のリーグ戦を行う。

各プールの1位、2位、3位がカップ戦の順位決定戦(優勝戦、3位決定戦、5位決定戦)を行う。

・プレート戦

ファーストステージの地区2・3位チームを2つのグループに分け、4チーム毎のトーナメント戦を行う。

各トーナメントの1位、2位、3位、4位がプレートの順位決定戦(優勝戦、3位決定

戦、5位決定戦、7位決定戦)を行う。

③ 第4代表選考試合

カップ4位チームとプレート優勝チームが対戦する。

■ 女子の部

全チームによる総当たりリーグ戦を実施する。

3) 順位決定方法

◇ プール戦(リーグ戦)

勝ち数の多いチームが上位となる。2チーム以上が同じ勝ち数の場合、下記の順で順位を決定する。

- ① 総得失点の多いチーム ② 総得点の多いチーム ③ 総トライ数の多いチーム
④ トライ後のゴール数の多いチーム

上記にて決定できない場合は、抽選で上位チームを決定する。

◇ トーナメント戦

トーナメント戦において同点の場合、上位戦へ進出するチームは、下記にて決定する。

- ① トライ数の多いチーム ② トライ後のゴールが多いチーム

上記にて決定できない場合は、抽選で進出チームを決定する。

13. 費用(大会参加料)

- 1) 交通費・宿泊費等は、参加チームの負担とする。
- 2) なお、2ndステージとファイナルマッチ等の千葉県での試合参加の交通費については、関東ラグビーフットボール協会の規定に準じ、一部補助金を支給する。
- 3) 大会参加料は、登録候補選手、指導者、セーフティアシスタント、各1人500円とし、千葉県での大会開催時の代表者会議で徴収する。
- 4) 試合中に発生した負傷等の医療費(健康保険扱い)、その他の経費は当該参加チームの負担とする。

14. 表彰他

■ スクールの部

カップ戦は、優勝・準優勝、3位、プレート戦は、優勝、準優勝、3位を表彰する。

■ 女子の部：

優勝チーム 準優勝チームを表彰する。

※ **全国大会への出場推薦候補チーム**

本大会で以下の成績を収め、且つ、チーム、選手、指導者など関係者全員が品行方正であると認められたチームを「第23回全国ジュニアラグビーフットボール大会」への出場推薦候補チームとする。

■ スクールの部：カップ戦の優勝、準優勝、3位、及び第4代表決定戦での勝利チーム

■ 女子の部： 優勝チーム

15. 健康管理

- 1) 大会参加にあたっては、出場チームの登録役員は、保護者から選手が健康であり本大会への出場に問題がないことを確認すると同時に過去の病歴や既往症などを把握し、選手が良好な健康状態を保てるよう努力すること。
- 2) 大会期間中、選手の健康管理には十分注意しなければならない。

【主催協会事務局】

関東ラグビーフットボール協会

〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-37

TEL03-3423-4422/FAX03-3423-4619 info@rugby.or.jp